

令和3年度第1回成田市地域包括支援センター等運営協議会  
会議録概要

**1 開催日時**

令和3年8月18日（水）資料発送（書面開催）

令和3年8月31日（火）ご意見等締切

**2 開催場所**

資料郵送による書面開催

**3 出席者**

（委員）

篠田委員，長島委員，吉田委員，宮下委員，塚田委員，岩松委員，  
石井博子委員，山下委員，北村委員，石井英行委員

（事務局）

米本福祉部長

平岡介護保険課長，青野係長，築比地副主幹，加瀬副主査

窺高齢者福祉課長，佐藤係長，窪木係長

西部北地域包括支援センター（北村管理者）

南部地域包括支援センター（井上管理者）

西部南地域包括支援センター（林管理者）

東部地域包括支援センター（岩澤管理者）

西部西地域包括支援センター（木下管理者）

生活支援コーディネーター（松田，土屋，坂本，石渡，猪瀬）

**4 会議次第**

（1）地域包括支援センターの運営等に関する事

①地域包括支援センターの運営等に関する事

②令和元年度地域包括支援センター事業計画の達成状況について

③介護予防支援業務等の一部委託について

（2）地域密着型サービスの運営等に関する事

（3）介護予防・日常生活支援総合事業に関する事

※詳細は別添の資料を参照。

**5 委員からの意見等**

別添の「書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における意見と市の考え方について」を参照

書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における  
意見と市の考え方について

・会議の名称

令和3年度第1回成田市地域包括支援センター等運営協議会

・担当課

介護保険課

書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における意見と市の考え方について

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
1	<p>第8期成田市介護保険事業計画における地域密着型サービス事業所の整備について、小規模多機能や定期巡回の整備についてはできることなら東部圏域にお願いしたい。</p>	<p>地域密着型サービス事業所の整備については、整備予定事業者を公募することにより実施しております。</p> <p>整備地を東部圏域に限って整備予定事業者を公募することは考えておりませんが、東部圏域においては、特に訪問介護のサービス利用の調整が困難な場合が多いというご意見を会議の席でもお伺いしているところでございますので、本市といたしましても、訪問介護事業者等のご意見も伺いながら、対応策について検討してまいります。</p>	<p>高齢者福祉課</p>	<p>—</p>
2	<p>介護予防把握事業について、薬局において行われている基本チェックリストの実施件数が平成29年度に比べると令和2年度は極端に減っている原因は何かあるか。</p>	<p>実施件数の減少については、薬局薬剤師が通常業務をするなかで、加えて本事業を実施する困難さや、精力的に取り組んでいた薬剤師が令和元年度から市外に異動されたことに加え、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、来局者の減少や薬局においても三密を避けるなど対応に</p>	<p>介護保険課</p>	<p>P. 48</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>より、親密な聞き取りが困難であったことなどが、原因と考えられます。</p> <p>市の対策といたしまして、令和3年度から7項目の簡易版チェックリストを活用しており、市民及び薬局双方の負担軽減を図り、実施件数の向上に努めております。</p>		
3	<p>研修、ケア会議、検討会等がリモートで開催できるよう進めていくこと、また、参加できない場合についての対応も検討してほしい。</p>	<p><b>【西部北】</b></p> <p>Z o o mでの研修会はすでに検討しており、ケア会議や事例検討会のリモート開催についても、今後検討してまいります。参加できない方については、少人数で感染対策を行い、対面での開催を考えています。</p> <p><b>【南 部】</b></p> <p>参加出来る方法をご案内しながら、参加出来ずに資料をご希望などの場合は、後日送付するなどして対応していきたいと考えています。</p> <p><b>【西部南】</b></p>	<p>地域包括支援センター (全圏域)</p>	-

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>Z o o mを使つての開催を考えています。 また、環境等によりリモートでの参加が困難な方については、少人数での対応（対面）も検討しています。</p> <p><b>【東 部】</b> 東部包括において、現在研修への参加はZ o o mを使用し参加するなど実際に対応を行っています。ケア会議や検討会については、参加者のインターネット環境や操作が可能かどうか次第ですが、関連機関においては比較的リモートでの対応は可能と思われます。一般市民の方、特に高齢者の方に参加いただく場合には、操作方法がわからず参加できないということが課題としてすでに挙がっています。以前、市において、スマホの使用法の講座などが開かれましたが、引き続きそういった講座などを通じ、高齢者の方でもI Tの利用に向け、前向きに</p>		

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>なる地域づくりを進めていく必要があると感じています。</p> <p>【西部西】</p> <p>事業所としては環境整備はできており、令和3年度に入り、Zoomを活用しての地域ケア会議を開催いたしました。今後研修会や事例検討も開催予定です。ケアマネジャーやサービス事業者等につきましては概ねオンラインの使用は出来るようですが、民生委員さんや地域住民となりますと、難しい状況ですので、感染防止に留意しながら、一部参集が可能になったら、ハイブリッドで行うことも必要かと考えています。</p>		
4	<p>介護ケアマネジメントについて、委託先の要望、困難事例、類似事例など、市内包括で統一した見解や解決のための方向性を提示し、まとめてほしい。</p> <p>(過去の相談内容の傾向で考え方や方向性が分かることが望ましい)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出などで開催を見合わせる場合もありますが、月に1回、地域包括支援センター連絡会を開催し、市と地域包括支援センターにおいて、情報共有や事例検討等の場としております。</p>	介護保険課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>委託先の要望や困難事例などがある場合は、連絡会において議題として挙げており、事例等を共有し、過去の相談内容も踏まえながら解決に向けた議論を行っております。また、会議の内容につきましては、介護保険課が会議録を作成し、記録を残しております。</p>		
5	<p>要介護者だけでなく、元気高齢者においても、居場所の確保などのニーズがあることから、資源開発をさらにお願いしたい。</p>	<p>高齢者の居場所の確保などについては、高齢者の介護予防及び地域づくりを推進するため、市が委託する生活支援コーディネーターが中心となって、ニーズの把握や資源開発に努めているところです。</p> <p>なお、令和3年度より「成田市高齢者居場所づくり事業補助金」を創設し、なりたいきいき百歳体操を含む介護予防活動等、居場所づくりを実施する団体に対し、立ち上げに伴う費用の補助を行っており、更なる居場所確保の促進に努めてまいります。</p>	介護保険課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
6	各包括の取り組みやその内容について、市民や関係機関にどの程度周知されているのか知りたい。	<p>【西部北】 包括だよりの配布、民児協、地区社協等での取り組みを紹介しています。相談数も増加していて、周知されていると考えています。</p> <p>【南 部】 季節毎に「包括便り」を作成して関係機関へ配布しています。昨年度は年3回発行しています。内容としては初夏号「フレイル予防、詐欺防止、熱中症予防」秋号「遠山地域小地域ケア会議の報告、子供食堂や野菜の移動販売の様子」春号「散歩コース紹介、介護ボランティア制度紹介」です。各号共に特集記事を組んで皆さんに手に取って頂けるように工夫しています。また訪問の際にはパンフレットを持参してセンターの役割をご案内しています。</p> <p>【西部南】</p>	<p>地域包括支援センター (全圏域)</p> <p>介護保険課</p>	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>関係機関への周知は十分であると感じていますが、一般市民については、「必要としている方」への周知に留まっています。</p> <p><b>【東 部】</b>  成田市総合保健福祉計画策定のため、実施された市民向けアンケートによると東部地域包括支援センターについて「よく知っている」と回答された方の割合は2.7%、「ある程度知っている」と回答された方は26.4%となっています。業務にあたり感じることは、相談件数は年々増加しており、それは市民や関係機関への周知が進む中で増加につながっているのではないかと思います。</p> <p><b>【西部西】</b>  年3回地域包括支援センターだよりを発行し、取り組みについて広報しています。公共施設に置くほか、関係者に配布をしていま</p>		

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>す。その他には小地域ケア会議や地区社協、民生委員児童委員協議会の会議等で取り組みについてお伝えしています。</p> <p><b>【介護保険課】</b></p> <p>第8期成田市介護保険事業計画策定におけるアンケート調査において、一般の高齢者では、地域包括支援センターの支援内容等について「よく知っている」が2.9%、「ある程度知っている」が25.3%となっております。市といたしましては、広報なりたにおいて、特集記事により地域包括支援センターの役割等について掲載しているほか、市のホームページやチラシの配布などで周知を図っているところです。</p> <p>今後におきましても、これらの周知を継続するほか、地域包括支援センターと連携して、地域住民への支援を行いながら、認知度向上に努めてまいります。</p>		

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
7	<p>「粘り強く連絡調整を行う過程」とあるが、具体的にどのように対応したのか。今後の参考にしたい、伺いたい。</p>	<p>「感染予防を踏まえた日頃の心構えについて」をテーマにした小地域ケア会議の開催についてですが、松本先生の講義については国際医療福祉大学成田病院の地域連携室の方に橋渡し役になって頂き、依頼文にて講演をお願いし、会場設備の様子、会の趣旨や全体の流れ、各発表者の講義内容、どのような方が参加するのかなどメールのやりとりを何度も行いました。「災害時の感染予防」というテーマでお願いして講演者は松本先生とお返事を頂きました。パンフレットに掲載する写真の確認等細かな事もひとつひとつ確認しながら進めました。会議を3部形式にして第2部は危機管理課のご協力のもと「コロナ禍における災害時避難所対策、第3部は「本城地域自主防災の取り組みについて」です。事前の打ち合わせも含めて区長会、地区社協、民児協の皆さんのご協力を頂きました。前年の台風でこれまでにない経験をした事とコロナ禍である事で</p>	<p>南部地域包括支援センター</p>	<p>P. 13</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>「感染症予防と防災」についてのケア会議をどうしても実現させたかったので、失礼のないように留意しながらこちらの希望をお伝えしました。こんなに盛沢山で実際に時間内で納める事が出来るかどうかなど不安もありましたが、当法人からの支援もあり無事行う事ができました。松本先生の講演の様子は翌日の千葉日報にも掲載して頂きました。</p> <p>その時に国際医療福祉大学成田病院の地域連携室の皆さんと沢山の連絡調整をさせて頂いた事が現在の医療連携にも生かされていると感じています。</p>		
8	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、面会不可の病院が多い中、退院後に家族が予想していなかった症状やADL低下で介護負担が大きいというケースが散見される。ケアマネジャーのみの対応は不可能であり、基幹病院（少なくとも退院支援室、できれば看護師及び主治医）と多職種、家</p>	<p>入退院支援に関しては、印旛市郡医師会が成田市をモデル地区に入退院支援モデル事業を平成29年に開始し、平成31年3月にモデル事業終了後も入退院支援モデル事業実施検討会推進委員会を開催しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降の会議開催はありま</p>	健康増進課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
	<p>族を交えたオンライン（Zoom）会議があるとよいと思う。また、医療介護のオンライン会議を推奨してもよいと思う。</p>	<p>せんが、コロナ禍における退院支援の在り方など、切れ目のない支援を行うためにも、会議開催に向けた相談をしてまいります。</p> <p>医療介護のオンライン会議については、コロナ禍においても必要時に医療・介護関係者間が連携をとることができる手段と考えております。令和2年度は多職種のための在宅医療研修会として「リモートでのコミュニケーション技術を学ぶ」のテーマで、オンライン（Zoom）会議開催のための研修会を3回シリーズで実施いたしました。</p>		
9	<p>介護支援ボランティアについて、市民へ周知していただくとともに、ボランティアにより参加しやすいものにした方がいいのではないか。</p>	<p>令和3年度より、ボランティアポイント付与の対象となる活動や施設を拡大し、ボランティア活動参加への促進を図っているところでございます。また、チラシ作成のほか、広報なりたや市ホームページへの掲載により、周知を図っております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動が制限されている現状もございますが、よりボランティアに参加し</p>	介護保険課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>やすいものとするため、周知方法や事業内容について、検討してまいります。</p>		
10	<p>高齢夫婦の年金が二人合わせて7万円程度のため、介護サービスを受ける回数を減らしたという話を以前聞いたことがあるが、同様の事例はあるか。</p>	<p><b>【西部北】</b>            金銭問題の相談も大変多く、同様の事例もあります。高齢者の方が必要なサービスを受けて、生活できるように生活保護、負担減免等の支援を行っています。</p> <p><b>【南 部】</b>            介護サービスを選択する際の費用負担は皆さんがお考えになる事と感じています。ですが、生保の方以外でそういった具体的なお話は伺った事はありません。</p> <p><b>【西部南】</b>            経済的な相談にも対応しており、経済的な理由により、サービス利用を控えるという事例はあります。</p> <p><b>【東 部】</b></p>	<p>地域包括支援センター            (全圏域)</p>	<p>—</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>高齢者夫婦という状況に限らず、単身者など色々な状況において、金銭的に余裕がないため、サービスの利用回数を減らすという事例はあります。具体例としては、要支援2の認定を受け、本来は現状維持のためには週2回のデイサービスの利用が望ましいところですが、2回利用すると基本料金は変わらずとも昼食代は自費となり、費用も倍になってしまうため、週1回の利用に留まるなどといった事例となります。</p> <p><b>【西部西】</b> ケアプランを作成するときには、その世帯の経済状況を確認し、介護サービスにかかる費用の額に合わせて、相談しながらマネジメントを行います。なかには、なるべく介護にお金をかけたくないということから、最低限のサービス利用にとどめるという方はいらっしゃると思いますが、必要な</p>		

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		サービスを減らさざると得ないといったケースはありませんでした。		
1 1	西部北地域包括支援センターについて、施設が狭いと感じられる。完全に仕切られた相談個室があればよいのではないか。また、将来に向けてスタッフの増員と育成の検討が必要だと思う。	完全に仕切られた個室につきましては、施設の構造上、現状での設置は困難となっております。ご相談事などが他の人に聞こえてしまわないよう、最大限配慮してまいりますので、ご理解をお願いいたします。 また、職員の配置については、成田市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例に基づき、担当圏域の高齢者人口により、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職員等を規定数配置しているところでございます。近年の高齢者人口の増加に伴う相談件数や業務量の増加もあることから、職員の増員及び育成については、今後の高齢者人口の推移等も勘案しながら検討してまいります。	介護保険課	—
1 2	孤立している人等への支援の再整備、地域で支えるネットワークの構築が課題。また、地域包括支援センターの多岐にわたるサポ	地域包括支援センターを中心として、区長や民生委員など地域と連携を図りながら、孤立している人等への支援など、地域で支	介護保険課	P. 3

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
	<p>一ト業務について、潜在的利用者に十分に周知する必要がある。</p>	<p>える仕組みを検討してまいります。また、地域包括支援センターの業務の周知について、広報なりたや市ホームページへの掲載、チラシの配布など継続的に行うほか、地域包括支援センターと連携して、地域住民への支援を行いながら、認知度向上に努めてまいります。</p>		
13	<p>認知症予防のために、食事・運動・社会参加に対する施策及び自発的継続（本人の実施記録やインセンティブ）ができる方法を総合的に検討する必要があるのではないか。</p>	<p>令和2年度より、認知症予防に注力した介護予防教室として、新介護予防教室「人生カッコよくプロジェクト」を開催しています。認知症、フレイル（虚弱）、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を予防する総合的なプログラムとして、運動やタブレット端末など使用した脳トレのほか、美術等の創作活動、認知機能の向上のための筋力トレーニングなどに取り組む教室でございます。また、参加者が自発的・継続的に取り組むことができるよう、ボランティアを養成して地域で活動したり、公民館等でタブレット端末を使用できるようにすることなど</p>	介護保険課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により見送りましたので、今後の情勢等を勘案しながら対応してまいります。		
14	19回開催された個別地域ケア会議の中には、問題解決のために時間を要するものや、資源の不安などもあるかと思うが、諦めずに対応しているか。	19回開催された会議は、事例も多様で対応もまちまちとなっております。全ケース、ほぼ解決していて、継続的に支援を行っているケースもあります。	西部北地域 包括支援センター	P. 6
15	支援困難事例とは、支援者側にとって力量や連携の難しさの課題があり、そう表現しているのか、利用者（クライアント）側の問題について支援困難としているのか。	両方ともあてはまりますが、どちらかと申し上げるのであれば利用者側の問題であると考えております。クライアント個人に限らず、世帯全体や環境・背景を含めて、より重層的な課題が増えてきていると感じております。	西部南地域 包括支援センター	P. 20
16	民生委員との連携を強めているのであれば、地域ケア会議においても民生委員の定例会等の機会も想定し、個別ケア・地域づくりを協議・共有する場として検討してはどうか。	民生児童委員の定例会参加の際に、包括にて実際に支援した事例について共有することは多いのですが、地域ケア会議とし、地域課題の発掘までは行えていないところです。実施するためには定例会内の時間調整	東部地域包 括支援セン ター	P. 28

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		が必要になりますので、民生児童委員の皆さんと相談をしていきたいと思えます。		
17	やると慣れてくると思うので、オンライン会議を検討してみたらどうか。	令和2年度中は、センター側のオンラインの体制は整っていたものの、包括支援センター同士の会議やケアマネジャーの会議以外には実施はありませんでした。 今年度に入り、参加される側の皆様におかれましてもオンラインの環境が整ってきたこともあり、小地域ケア会議はZ o o m ミーティングを活用して開催いたしました。	西部西地域 包括支援センター	P. 32

※回答を要しない内容につきましても、貴重なご意見として関係各所に周知いたします。